

SONORE

光ファイバ-LANコンバータ
opticalModule



取扱説明書

はじめに

この度は、SONORE opticalModuleをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本取扱説明書には、本機の設置や操作についての重要な情報が含まれています。

本機の優れた機能・性能を存分に発揮させ末長くご愛用いただくため、本説明書を一通りお読みの上、設置や操作の詳細について充分にご理解いただき、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

目次

第1章. 開封と設置.....	3
第2章. フロント・パネル（前面）とバック・パネル（背面）.....	4
第3章. 接続手順.....	5
1) opticalModuleにACアダプタを接続する.....	5
2) opticalModuleに光ファイバを接続する.....	5
3) opticalModuleにLANケーブルを接続する.....	6
4) opticalModuleの様々な使い方.....	6
第4章. 電源のオンオフ.....	7
第5章. 光ケーブルとSFPモジュールの取り外し.....	7
第6章. 製品の仕様.....	8

第1章. 開封と設置

opticalModuleのパッケージには以下内容品が含まれております。

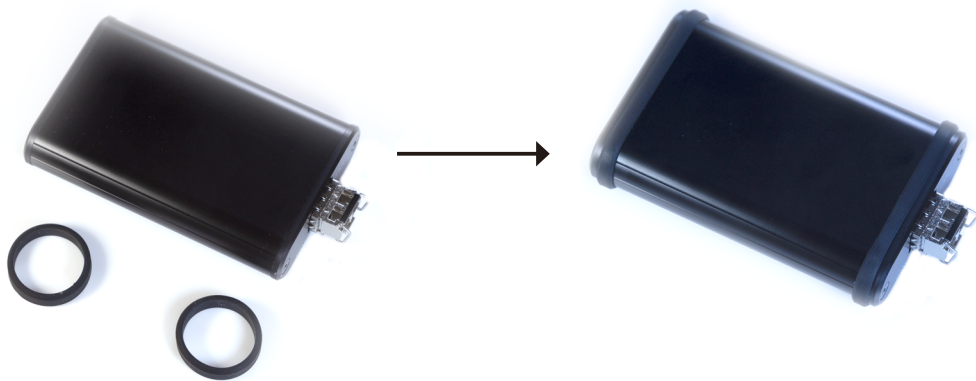
梱包内容：

- ・ 本体：opticalModule
- ・ SFPモジュール(本体に装着されています)
- ・ iFi audio iPower 5V
- ・ LANケーブル
- ・ ゴムバンド 2個
- ・ TOP WING Cybersound Group発行製品保証書

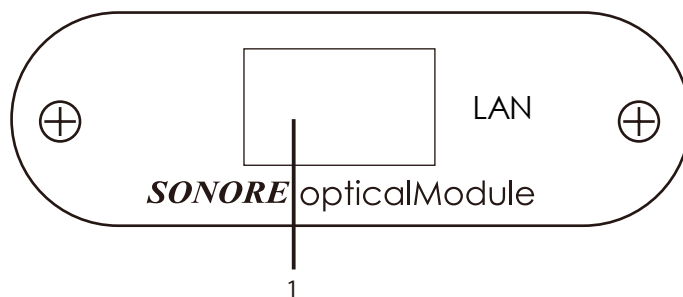
もし、上記内容品に不足があった場合には、ご購入店にご連絡ください。

また、本機は放熱に十分配慮した設計となっておりますが、その仕様上、本体がやや発熱いたします。オーバーヒート防止のため、本機の両側、ならびに上方へ十分に通風を確保できる場所に設置ください。また、筐体に布等をかぶせるのは放熱の妨げとなりますのでお控えください。

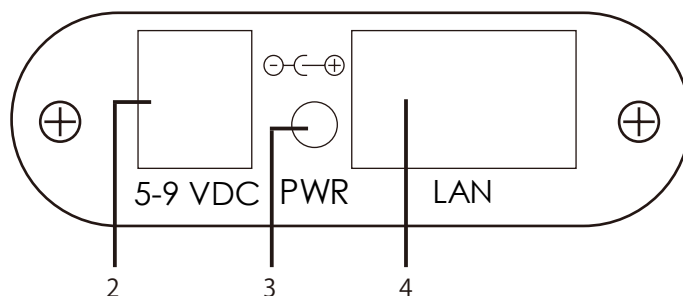
本機は軽量であり小型のため、ケーブルのテンション等で本体が動いてしまうことを防ぐために、ゴムバンドが2個付属しております。お好みに応じて下記のように本体前面と背面にお取り付けください。



第2章. フロント・パネル（前面）とバック・パネル（背面）



1) SFPポート：opticalModuleは光ファイバの接続にSFPモジュールを採用しています。SFPモジュールは製品出荷時点で装着されております。SFPモジュールは1000BASE-SXに対応しており、LCコネクタ2芯、コア径62.5um/50umマルチモード光ファイバを接続します。マルチモード光ファイバは製品に付属しておりませんので、別途お買い求めください。



2) DC電源コネクタ：付属のACアダプタ (iFi audio iPower 5V) を接続します。本機は5-9VのDC電源に対応しており、お好みのDC電源を使うことができます。ただし、iFi audio iPower 5V以外の電源使用時における故障は、無償保証の対象外となりますのでご注意ください。また7Vより高い電圧での動作は本体が極めて発熱いたします。7V以下での動作を強く推奨いたします。2.1mm/5.5mm DCコネクタ、センタープラスです。

3) LED：点灯色によって以下状態を示しております。

消灯：電源オフ

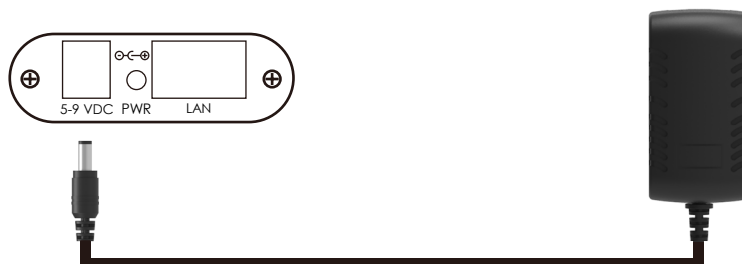
緑：電源オン

4) LANポート：LANケーブルを接続します。対向となる機器が1Gbpsに対応している必要があります。RJ45コネクタです。

第3章. 接続手順

下記手順に従いopticalModuleの接続を行ってください。

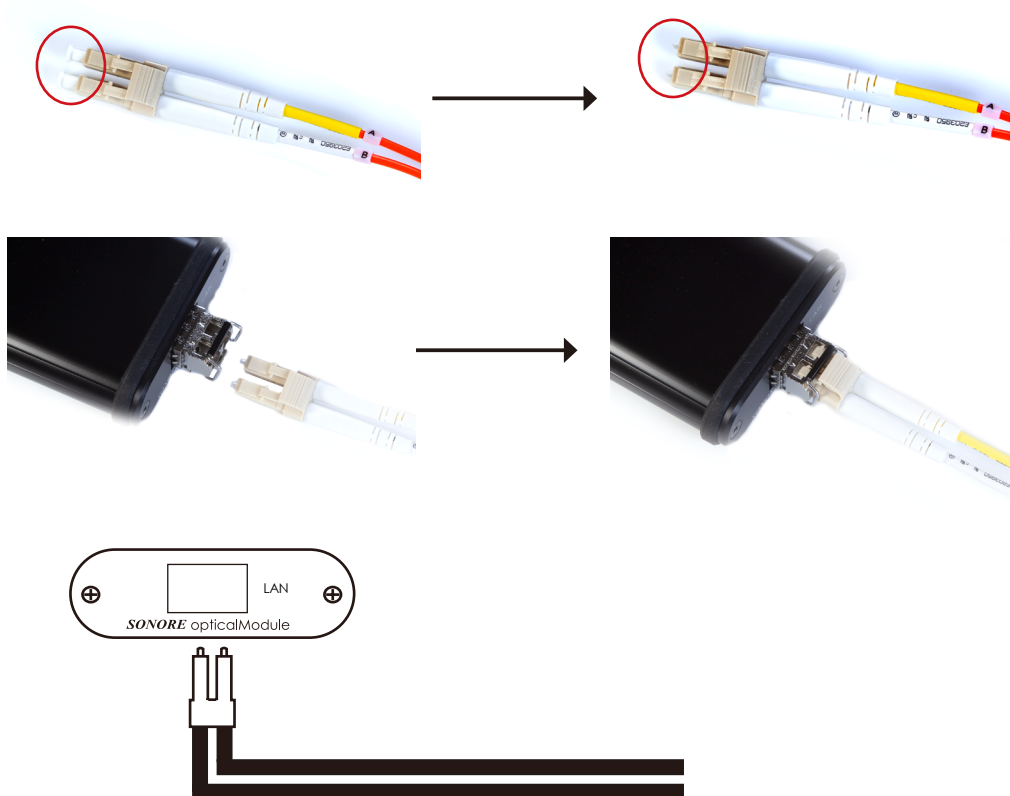
1) opticalModuleにACアダプタを接続する



opticalModuleのDC電源コネクタに付属のiFi audio iPower 5VのDCプラグを挿し込み、iPower 5Vを壁コンセントや電源タップに接続ください。また、opticalModuleは5V-9V(7V以下推奨)DCに対応しているため、当電圧範囲内のDC電源をお使いいただくこともできます。opticalModuleのLEDが緑色に点灯することをご確認ください。

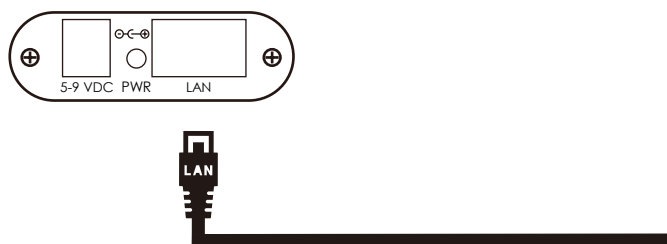
2) opticalModuleに光ファイバを接続する

光ファイバのキャップを取り外し、opticalModuleに接続します。光ファイバとSFPモジュールの切り欠きの向きを合わせてカチッと音がするまで挿入ください。また光ファイバのキャップは、今後光ファイバを取り外して保管する際に必要となりますので保管ください。



第3章. 接続手順の続き

3) opticalModuleにLANケーブルを接続する

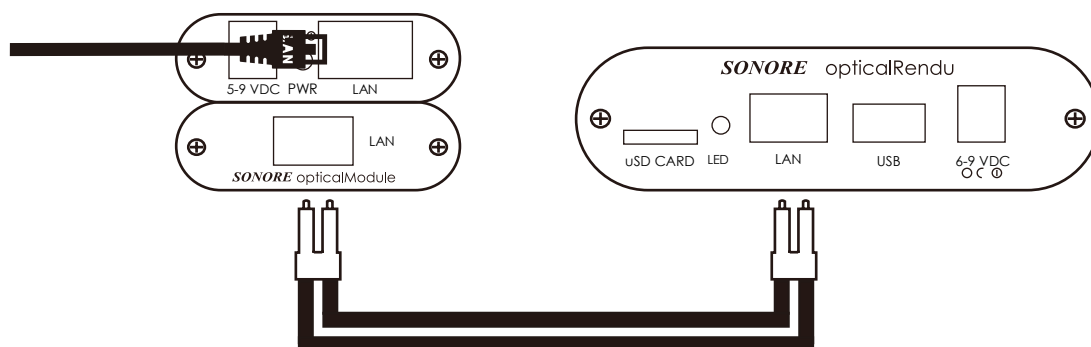


opticalModuleにLANケーブルを接続ください。opticalModuleの接続は以上です。LANケーブルで接続している機器と光ファイバで接続している機器が通信できているかどうかご確認ください。

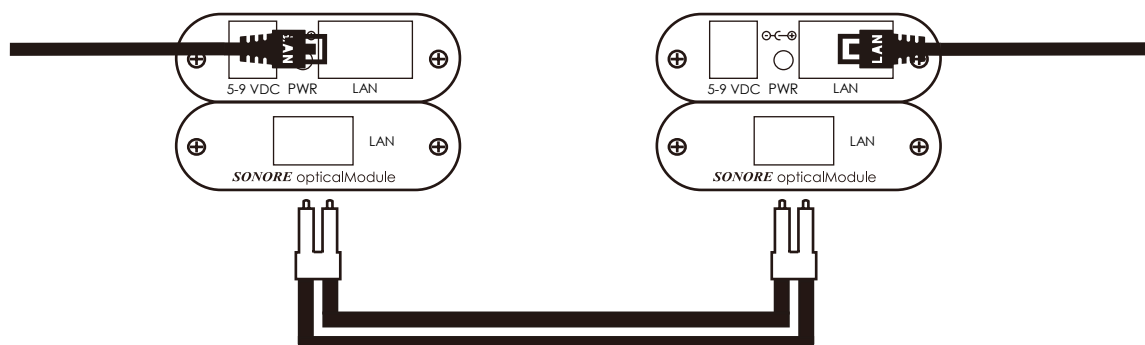
4) opticalModuleの様々な使い方

opticalRenduは光ファイバとLANの双方向変換が可能です。工夫次第で様々な経路で光ファイバにより絶縁し、ノイズをカットすることができます。

例1：SONORE opticalRenduを一般のスウィッチングハブで使う



例2：SONORE opticalModuleを2個使い、LANケーブルの一部を光ファイバ化する



第4章. 電源のオンオフ

ultraDigitalは連続運転を前提として設計されているため、本体に電源スイッチがなく、頻繁に電源を切る必要はありません。長期間使わない場合には、ACアダプタを電源コンセントから外してください。

また、ACアダプタを電源コンセントに接続することで、自動的に電源オンになります。

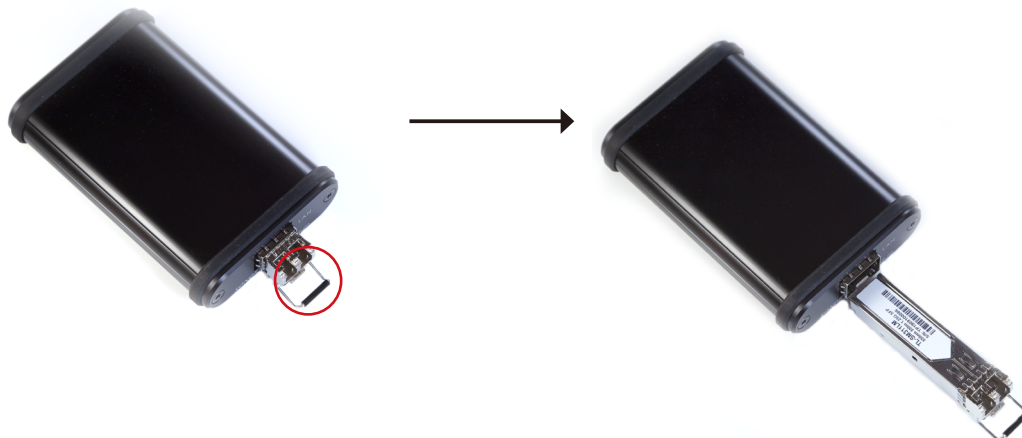
第5章. 光ケーブルとSFPモジュールの取り外し

光ケーブルとSFPモジュールを取り外す場合には以下手順で取り外してください。

光ファイバのコネクタ部分のツメを押してロックを解除しつつ引き抜いてください。もし、光ファイバを長期間使わない場合には、先端にキャップをつけて劣化を防ぐことをお勧めします。



SFPモジュールのラッチを引き起こし、SFPモジュール本体をもって引き抜きます。このときに、opticalModuleの電源をオフにして間もないとSFPモジュールが熱を持っている場合がございますのでご注意ください。



SFPモジュール、光ファイバを取り付ける場合には、上記手順を逆順で行ってください。SFPモジュール、光ファイバは十分に挿入されるとカチッと音がします。

第6章. 製品の仕様

LANポート：ギガビットイーサネット RJ45コネクタ

光ファイバポート：SFPポート 1000BASE-SX(付属SFPモジュールを使用する場合)

電源電圧：DC5V ~ 9V - iFi audio iPower 5V付属

※7V以下での使用を強く推奨いたします

大きさ(突起物、足含まず)：5.6cm(w) x 1.8cm(h) x 8.9cm(d)

重さ(実測値)：110g

※仕様は予告なく変更される場合があります。

製品についてのご質問・ご購入者様サポート

ENZO j-Fi LLC.

千葉県松戸市常盤平5-14-28-103

コンタクトフォーム：<https://sonore-audio.jp/Contact.html>

輸入・発売元：

有限会社トップウイング

東京都東村山市栄町1-10-2-1102

e-mail: info@twctokyo.co.jp

電話 042-392-8319

SONORE 日本語WEBページ

<https://sonore-audio.jp/>